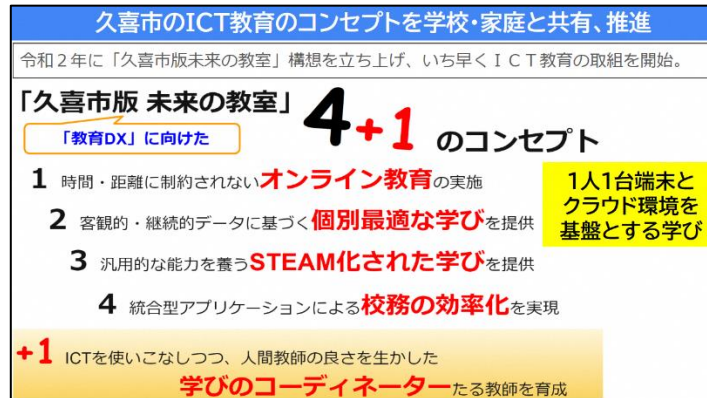


【久喜市】 校務DX計画

1 本市の現状

GIGAスクール構想の基、久喜市のICT教育の羅針盤である「久喜市版未来の教室」4 + 1のコンセプトを、市・学校・家庭・地域と共有し取組を強力に推進している。

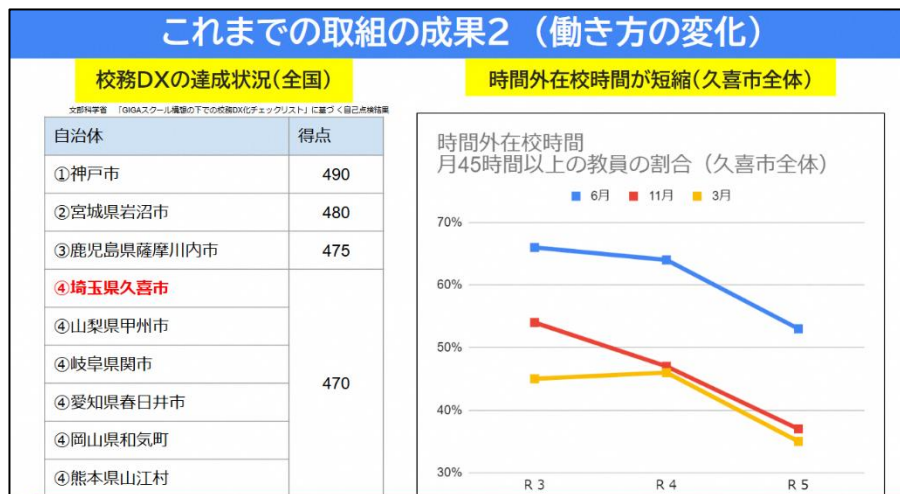
【久喜市版未来の教室4 + 1のコンセプト】



特に、授業、校務及び研修を一体とした取組として捉え、校務DXから教育DXへの推進を図るため、汎用クラウドツールをフル活用することで校務効率化の取組を進め、事例等を市内で共有し、水平展開を図っている。

また、文部科学省リーディングDXスクール事業における校務DXの取組も並行して進めているところである。

令和5年度「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」自己点検結果は、以下のとおりであり、チェックリスト項目をタスクリストとして捉えた本市の学校現場の取組は、全国的にも一定の成果を挙げていると考えられる。

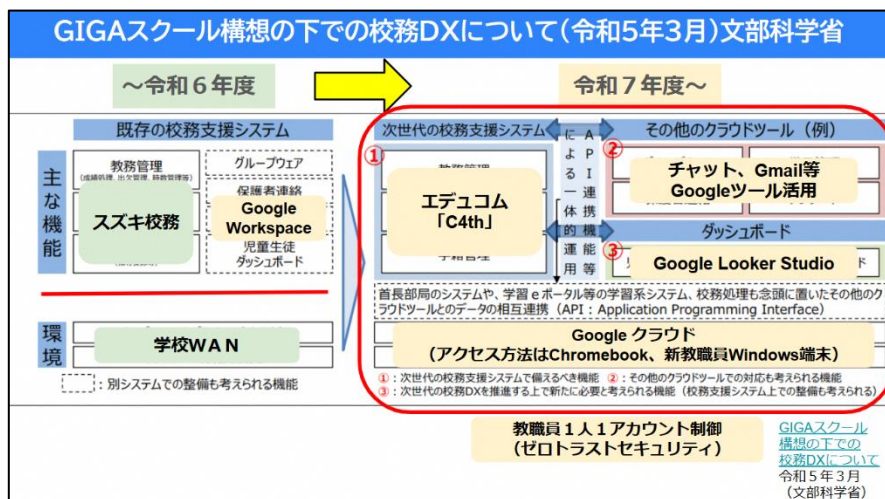


また、令和6年度「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」自己点検結果においても、学校向け自治体別達成状況では、約690ポイントとなっており、学校設置者向けの結果も540ポイントとなっていることから、学校と市が密接に連携し取組を進めてきた成果と意識の変容の一端が表れていると考えている。

2 今年度に取り組んでいる校務DXの取組の具体

Google workspace for Education等のクラウドツールをフル活用した校務DXの取組に加え、市（行政）として取り組むべきICT環境の充実のため、学習系と校務系ネットワークの統合によるフルクラウド化、多要素認証によるゼロトラストセキュリティの構築、新教職員用端末の更改、GIGAスクール構想の生命線であるネットワークの増強、フルクラウド版校務支援システムの更改、運用開始等の取組を進めており、令和7年度より本格運用をしていく。

【本市における校務支援システム等の全体像】



【教職員の業務改善につなげるためのICT環境の充実】

令和6年度久喜市フルクラウド、ゼロトラストを通したICT環境の充実について

GIGA第2期に向け、校務DX本丸の改革を通した業務改善と人財育成へ

- ・ 管理職、教職員にとって働きやすいICT環境へ
- ・ フルクラウド化でロケーションフリーの業務も
- ・ ゼロトラストによる強固なセキュリティを構築、安心して働ける環境へ
- ・ 授業≒校務≒研修 汎用ツールを活用し効率化
- ・ 教職員・子どもたちのWell-beingを目指して

3 今後の校務DX取組における具体の方策

校務DXチェックリスト自己点検結果も踏まえ以下の点に取り組んでいく。

- (1) 授業と校務を一体として捉え、汎用クラウドツールの一層の活用推進
- (2) フルクラウド、ゼロトラストセキュリティの本格運用フェーズにおける学校現場のサポート及び教職員向け研修体制の充実
- (3) GIGAスクール構想の生命線であるネットワークの増強後におけるクラウド活用の実態の検証と円滑なネットワーク環境の検証
- (4) 一人1アカウントとデバイス制御による強固なセキュリティの担保とセキュリティ監視体制の強化及びリスクマネジメント
- (5) 教職員の柔軟かつ多様な働き方を可能にする運用体制の検証

- (6) Googleクラウドをプラットフォームとしたデータ連携と教育データの利活用
- (7) 持続可能かつ安定したICT環境の構築検証や、学習者用端末の破損対応等、学びを保障するための円滑な運用方法の探求

4 今後の課題

今後目指すべき教職員の働き方改革にも寄与するICT環境を通じた業務改善により、学校現場における多様な児童生徒の学びの充実や、1人1人の児童生徒と触れ合う時間を確保できるよう、フルクラウド、ゼロトラストセキュリティ環境の運用とその検証を行い、本市の教育の更なる充実と発展につなげていく。

また、現在、一部の事務でFAXや押印事務が残っていることから、クラウド環境への移行を機に、FAX廃止、押印事務を含めた校務電子化の仕組みを検討していく。

具体的には、下記の表に基づいた柱に従い課題解決を進めていく。

久喜市版未来の教室を実現するために	
今後の課題	
1 個別最適な学びの更なる充実	⇒まだまだ道半ば。教育データの利活用が肝。
2 質の高い「共創」の学びの充実	⇒チームで、より質の高い答えを生み出す「STEAM教育」が肝。
3 教育DXの推進	⇒セキュアで合理的な「フルクラウド体制」の検証・改善が肝。
4 持続可能な安定したICT環境	⇒共同調達を通じた壊れにくい端末整備が肝。